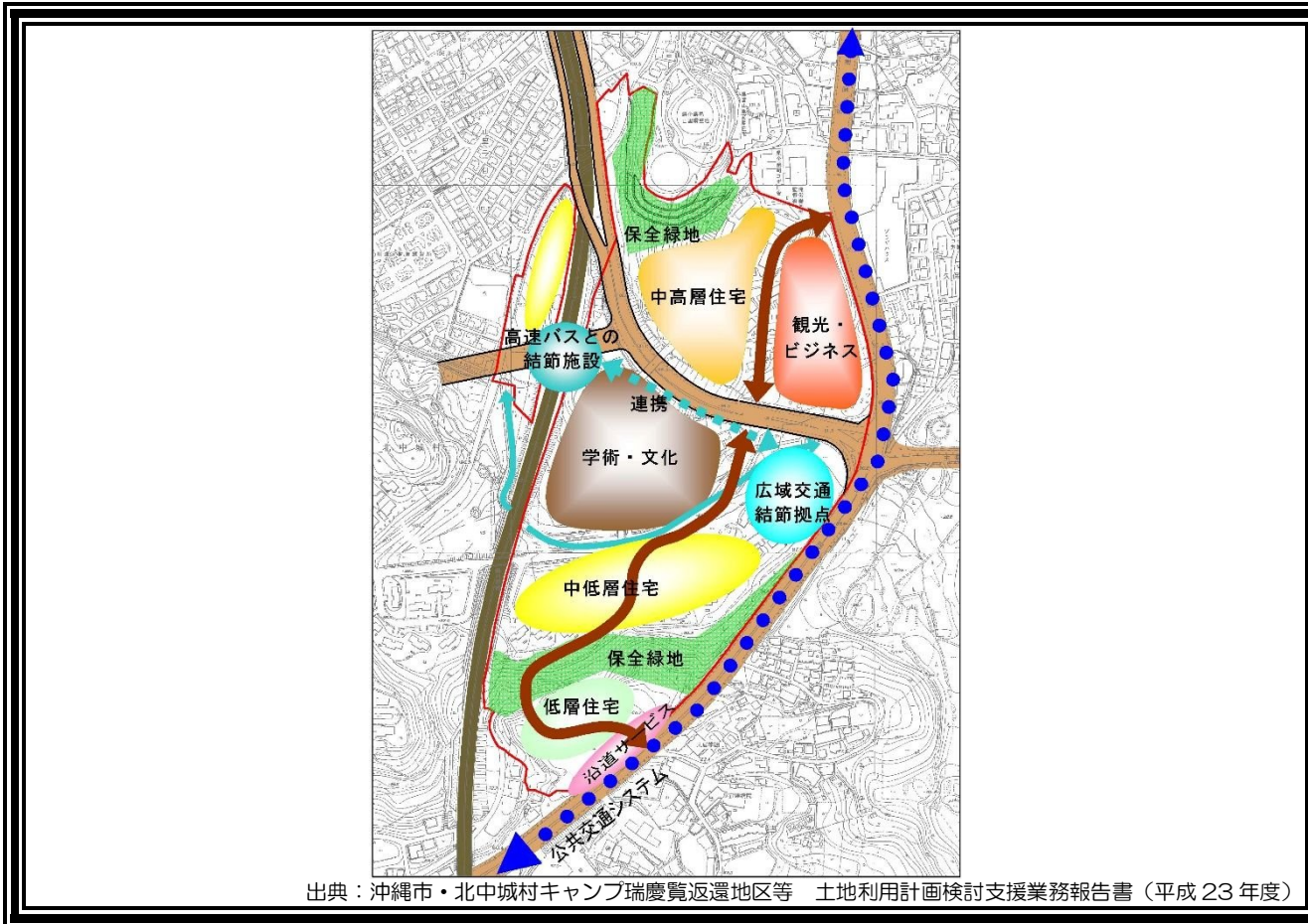


土地利用計画素案（素案4）



出典：沖縄市・北中城村キャンプ瑞慶覧返還地区等 土地利用計画検討支援業務報告書（平成23年度）

■返還合意施設の概要等

□ 概要			
面積	約 16ha	■内訳	
	国有地	0.3ha	1.9%
	県有地	1.2ha	7.5%
	市町村有地	1.0ha	6.3%
	民有地	13.5ha	84.4%
平成 25 年 4 月の統合計画の面積では、北中城村域（約 7ha）を合わせて約 23ha である。 (内訳は沖縄市提供)			
所在地	沖縄市（字山里）		
位置及び土地の形状	位置：沖縄本島中部、沖縄市の国道 330 号ライカム交差点西側 ※ロウワー・プラザ住宅地区全体は沖縄市と北中城村にまたがって位置している 土地の形状：緩急のある傾斜地（米軍住宅地）		
使用状況	管理軍：海兵隊（米軍住宅）		

□ 沿革	
昭 20	●軍事占領の継続として使用開始。
昭 47. 5. 15	●「キャンプ瑞慶覧」と「キャンプフォスター」が統合され、「キャンプ瑞慶覧」として提供施設・区域となる。
昭 50. 6. 30	●施設管理権が陸軍から海兵隊に移管。
平 8. 12. 2	●SACO 最終報告において、「キャンプ桑江」内にある海軍病院が「キャンプ瑞慶覧」に移設することを合意。また、米軍住宅地区を統合し、これらの施設及び区域の住宅地区の土地を一部返還することを合意。
平 18. 5. 1	●日米安全保障協議委員会（「2+2」）において、日米が平成 19 年 3 月までに作成する「統合のための詳細な計画」において、部分返還を検討することを合意。（再編実施のための日米のロードマップ）
平 22. 5. 28	●日米安全保障協議委員会（「2+2」）において、嘉手納以南の施設・区域の返還が「再編の実施のための日米ロードマップ」に従って着実に実施されることを確認。
平 25. 4. 5	●日米両政府の共同発表「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」において、返還時期及び区域等が公表。（2024 年度又はその後）
平 25. 5. 17	●跡地利用特措法に基づく「特定駐留軍用地」に指定。
平 31. 2. 15	●日米合同委員会において、家族住宅のキャンプ瑞慶覧への移設を承認。
令 4. 5. 19	●日米合同委員会において、共同使用を承認。

□ 返還時期及び条件	
時期	●「統合計画」において、2024 年度（日本国の平成 36 会計年度）又はその後。
条件	●「沖縄住宅統合（OHC）の下での家族住宅（102 戸）のキャンプ瑞慶覧（キャンプ・フォスター）内への移設」。

■跡地利用に係る取組状況等

□ 跡地利用方針・計画
●平成 22 年度に北中城村と合同で土地利用計画素案 3 案（既返還地区のサウスプラザ地区及び返還未合意の高速道路西側地区を含む。）を策定。
●平成 23 年度に地権者及び有識者の意見を踏まえ、素案 4（交流まちづくり）を追加で策定。
●整備手法としては地権者による土地区画整理事業の組合施行を検討。
※高速道路西側区域は返還エリアに入っていないため除外する予定。

□ 事業段階	
跡地利用計画（素案）策定段階	●令和 3 年度以降に過年度に実施した地権者ワークショップでの跡地利用に対する意見等を基に、新たな土地利用計画案の策定を予定。 ●地権者組織設立に向け、令和 3 年 2 月 16 日に地権者合同説明会を開催。 ※役員候補者として発起人を選考し、令和 3 年 7 月 16 日に市村両地主会主催による地権者総会を開催し、地権者会が発足。土地区画整理組合の設立準備会の結成や権利者の合意形成を推進する。